

くりやま ぎかいだより

No. 177 2023年(令和5年) 11月1日
発行／北海道栗山町議会



さらなる上達を目指して！
バスケットボール少年団
(2023.10.6)

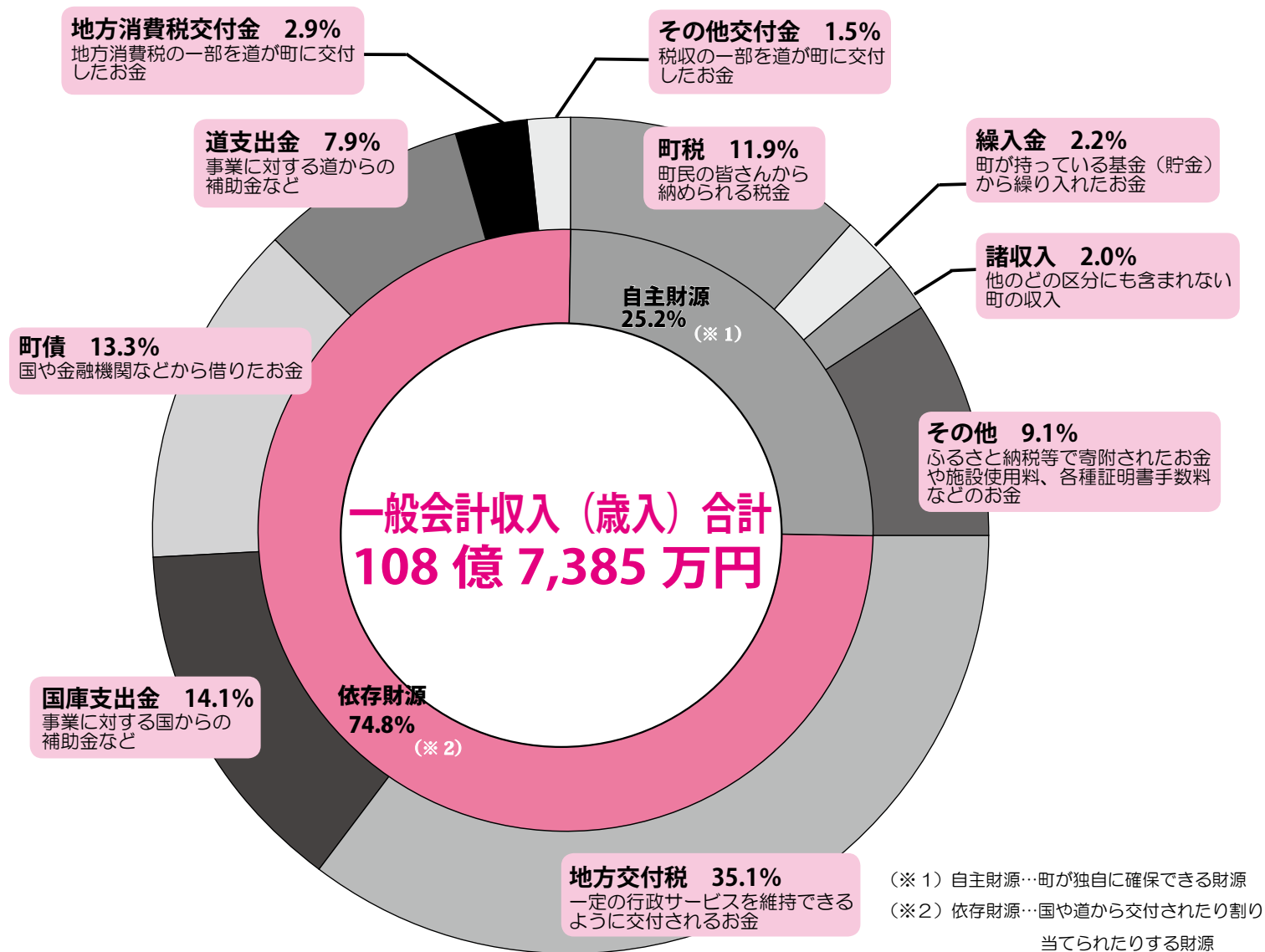
令和4年度決算審査	2
9月定例会議	6
4人の議員が一般質問	10
2人の議員が文書質問	16

チェック！

決算審査特別委員会
令和5年9月11日～13日

詳しい決算状況は、冊子「グラフと写真でみる、まちの決算と財政状況」をご覧ください。町ホームページに掲載されています。

町 HP 決算概要 QR



基金（貯金）の状況

基金（貯金）

32 億 9,730 万円
町民 1 人あたり **約 30 万円**
(昨年 約 26 万円)



昨年と比べて…増加

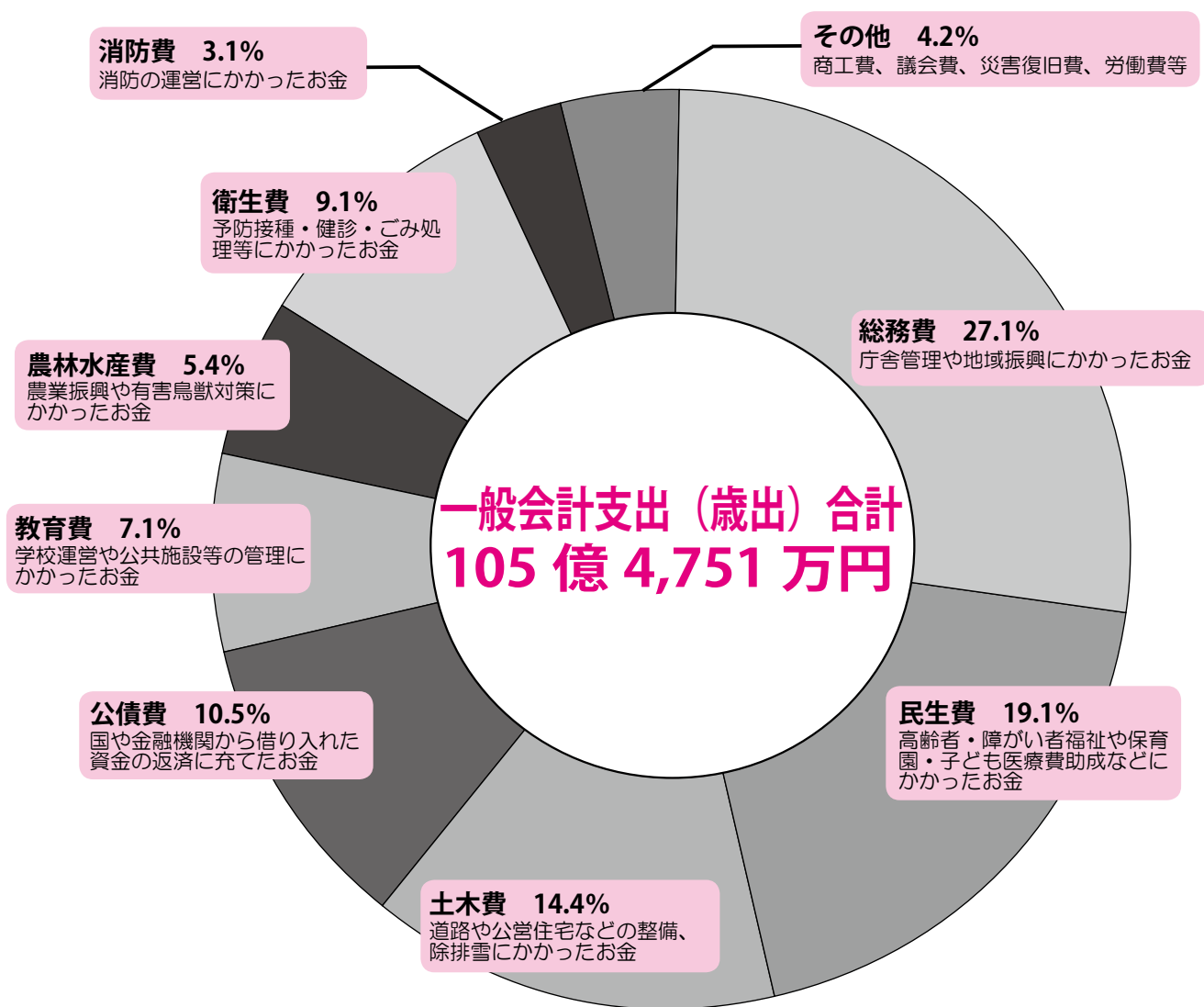


令和4年度決算

お金の使い道を

令和5年9月定例会議において、令和4年度各会計歳入歳出決算の認定について提案されました。

これに伴い、各会計決算審査特別委員会を設置し、特別委員会に付託して審査をすることを決め、9月11日から13日までの3日間、決算書等の説明や質疑を行った後、採決を行い、**9つすべての会計を「認定すべきもの」と**決定しました。



町債（借金）の状況

町債（借金）

152 億 852 万円
町民1人あたり **約 137 万円**
(昨年 約 136 万円)



昨年と比べて…増加





不安定な社会情勢と財政状況を 考慮して検討する

町長 令和2年度から令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として特別定額給付金や各種経済対策に関わる事業、ワクチン接種事業のほか、ごみ焼却処理施設建設工事に係る道央廃棄物処理組合負担金や、都市再生整備計画事業、栗山赤十字病院改築等事業が開始されたことから、歳出総額が増額となっている。

齊藤議員 顕著に増額している予算と、恒常的な減額維持の予算の固定化について、行政コストを抑える観点から令和4年度と直近過去2年の決算を踏まえてその理由は。

全体を通して適正な決算だが、歳出が増加傾向にある。同僚議員からも59の委員会質疑があったことを踏まえ、全体的な見地から総括質疑を行う。

顕著に増額した予算は

**コロナ関連の
政策効果と課題**

齊藤議員 コロナ関連政策の効果と今後継続すべき事業をどう行うか、3か年を総括し政策効果と課題について伺う。

町長 3年間に渡り合計131事業を実施し、一般的に一定の効果があったと考えている。今後は、交付金を活用し整備した設備や備品の更新及びランニングコストなどが将来的に生じてくるので、これらの財源確保を講じていく必要がある。

現在、継続して進めている対策もあるが、不安定な社会情勢を注視しつつ、財政状況も考慮しながら、実情に応じて必要な対応を検討していく。

令和4年度決算ココがきになる！

★ 決算審査特別委員会の中で、議員が「きになる！」と質疑をしたものについて抜粋して紹介します。すべての質疑については、議会HPで録画配信を行っておりますので、そちらをご覧ください。



令和4年度決算審査録画
配信 QR



若者定住推進課長 店番をしている作家さんに直接会うことができたり、ハンドメイド商品などで大きさや色等オーダーで作成することができるよう、クリエイターズマーケットを目掛けて来てくれる方も増えた。クリエイターズマーケットを中心として関係人口、交流人口の増加に繋がっていると考えている。

斉藤隆浩議員 クリエーターズマーケットの運営による栗山町への効果は。

ブランド推進課長 ホームページ、分譲地でのぼり、建築業者・不動産メーカーによる仲介をお願いしている。

本年度は1件売れて残りは11区画となっている。

今後は、住宅団地のホームページの全面改修を予定しているため、その中で新たに分譲を進めていきたいと考えている。

置田議員 エコビレッジの残りの区画についての販売戦略は。





さいとう
齊藤

よしたか
義崇 議員

コロナ関連政策の効果と 今後の事業継続は

**商工費の決算状況を
踏まえての現状と課題**

齊藤議員 商工費については、町及び関係機関等が一体となった政策として、予算、人材、情報を注ぐべきと考えるが、商工費の決算状況を踏まえて現状と課題の認識について伺う。

町長 商店街振興については、地域に根差した魅力ある商店街づくりが課題と考えている。今後も、関係する皆さんから意見をいただき、状況に見合った予算、人材確保、情報収集に努めながら事業展開を図っていく。

**都市再生整備
計画事業の総括**

齊藤議員 都市再生整備計画事業、関連事業の予算変更が大きかった理由は。

**質
疑**

町長 栗山駅南交流拠点施設整備において、建物改修に係るコンクリート補強の追加、放送施設整備において、設備機器の資材高騰などによる追加、社会資本整備総合交付金の追加配当による、新町通に関連する照明灯整備及びバスシエルトー整備の追加によるもの。

**下水道使用料
見直しの見通し**

齊藤議員 下水道使用料について令和4年度の決算をふまえ、その見通しについて伺う。

町長 減債計画の検証を活用し、下水道使用料による経費回収を前提に、町民負担も十分考慮しながら改定方針を決定したいと考えている。

決算監査



谷田進太郎 代表監査委員

行財政機能の効率化を図り、 計画的効果的予算の編成と執行を

(監査委員意見抜粋)

一般会計の歳入歳出の差引は、3億2,634万3,795円の黒字。厳しい財政状況の中で、効率的、効果的な予算の執行により事業が進められている。

独自財源の調達手段である「ふるさと応援寄附金」が前年度から引き続き増加しており、本町の魅力発信と併せ、今後の展開に期待する。

健全化比率について

項 目	説 明	令和4年度	令和3年度
実質公債費比率	財政規模に対する1年間に支払った借入金返済額などの割合。数字が大きいほど、「財政規模に対して返済が多すぎる」ということ。	8.3	10.3
将来負担比率	財政規模に対する将来支払う借入金返済額などの割合。数字が大きいほど「将来負担する負債が多い」ということ。	25.6	33.2

健全化比率

地方公共団体の財政状況を客観的に表した指標で、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」4つを「健全化判断比率」とし、法律で定められています。

栗山町の「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」は、本年度・前年度ともに数値なしのため上記では掲載を省略しています。



解説

9月定例会議

9月5日～14日



佐々木 学 町長

行政報告

買取証明書の誤交付について

この度、都市再生整備

計画事業における事業用地の買収及び建物等の移転補償に関わり、町が被買取者等に対し交付していた税控除適用のための買取り証明書の一部について、誤った様式で交付していることが判明しました。これにより、被買取者等のうち、3件の方について遡って税控除が適用外となり、追加の所得税等及び延滞金が課せられたものであります。このため、直ちに3件の方にお詫び申し上げるとともに、その対応を協議してきましたが、本案に関しては相手方に何

ら瑕疵（かし）がないこと、また、契約締結時において、税控除に関する適切な説明がなされていなかったことなどを踏まえ、当該追加の所得税等及び延滞金相当額（355万8700円）を、補償金として支払うことで3件の方と和解するものであります。

あらためて関係する皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことに心よりお詫び申し上げますとともに、このような事態を招いたことを深く反省し、今後、再発防止策の徹底はもとより、組織一丸となって適正な業務執行に努め、町民の皆様からの信頼回復に努めてまいります。

なお、公務に対する信頼を損ね、本町の信用を失墜させた責任に関しては、今後、議会との協議を経たうえで、別途厳正に対処いたします。

¥

一般会計補正予算

補正後予算総額 108億7,951万円（1億8,235万円追加）

予算を変更した主な事業

事業名	補正額
ふるさと応援寄附事業 ★質疑あり (寄附件数の増加見込みによる、運搬料やシステム使用料の必要経費)	8,671万円
バス路線維持費 ★質疑あり (夕鉄株式会社のバス路線廃線に伴うデマンド型による町営バス実証運行業務)	913万円
補償補填及び賠償金 ★質疑あり (都市再生整備計画事業における証明書の誤交付による追加の所得税等相当額の和解金)	355万円
栗山少年ジェット派遣事業 (燃料価格高騰等の影響による渡航費用の増に係る必要経費)	183万円
総合福祉センター費 (総合福祉センターで発生した漏電に伴う建物修繕料)	88万円
備品購入費 (栗山中学校の牛乳保冷库の故障による備品更新)	79万円

※補正予算金額は、単位を「万円」とし、おおよその金額を掲載しています。(千円以下は切り捨て)

質

疑

齊藤義崇議員 今回の

事務処理の誤りを受けて、調査特別委員会を立ち上げ、常任委員会でも所管事務調査を行う。今後の調査の中で、評価や罰則、業務改善点など導き出していくので、処分等についてはそれを踏まえて提案して欲しい。また、調査についても協力していただき、資料等の提供をお願いしたいと思うがよろしいか。

町長 今回のことで、特別委員会、常任委員会で協議をいただき、お手数をおかけして申し訳ない。議会からのご提言、ご意見を踏まえた上で、改めてこちらから説明する。また、調査についての協力は当然の責務である。しっかりと対応させていたたく。

齊藤義崇議員 今回夕鉄バス路線が廃止になったが、公共交通網の今後の見通しは。

経営企画課主幹 南空知

地域公共交通活性化協議会、また栗山町単独での協議会において計画作りを進めている。南空知地域公共交通活性化協議会の中には専門部会もあり、栗山町でも必要に応じて設置することとしている。

南空知、栗山町の交通網の整理をした中でうまく連動させて計画作りをしていく。

鈴木議員 ふるさと応援寄附事業の実績と、今年度の見込み額は。また、リピーターを増やすための工夫は。

経営企画課主幹 寄附額

については9月4日時点で、8038万3千円、件数は4044件となっている。今年度の寄附額については年度末で2億9500万円を見込んでいる。

リピーターを増やすための工夫については、何度も寄附をしていたできるようにダイレクトメール

ルを送ったり、返礼品の数を増やすなどしている。

齊藤隆浩議員 ふるさと

応援寄附業務委託料の追加の詳細は。

経営企画課主幹 ふるさと

と応援寄附業務は当初予算では半年分を計上し、後半の半年分を今回の補正予算で計上している。業務内容の追加はない。委託先は「合同会社オフイスくりおこ」となっている。



令和5年度版ふるさと納税パンフレット



G P S 機能付きのトラクターは無人運転が可能

重山議員 ICT農業支援事業の現状と詳細についてどうなっているか。

がある。

本町では、平成29年からICTに係る機器導入に対して助成事業を行っている。対象経費の二分の一以内、上限は60万円となっている。

実績としては、昨年度までに42件、本年度は20件の申し込みがあった。

産業振興課長 近年、農業者数の減少に伴い、農業者当たりの耕地面積が増加している。それにより農作業の省力化やコストの低減を図るために、ICTの力を借りる農業経営者が増えてきている。具体的には、ドローンや自動操舵システム等



条例

いじめ防止対策を推進するため条例を制定

▼栗山町いじめ防止等に関する条例

本町のいじめに対する姿勢として、従前の基本方針に加え、いじめ防止対策の基本となる事項を定めるとともに、重大事態が発生した場合における第三者委員会調査の実施その他の適切な対処方法を規定するなど、いじめ防止対策を総合的かつ効果的に推進するため、本条例を制定するもの。

▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

栗山町いじめ防止等に関する条例に定める各附属機関の委員報酬に関する規定を追加するもの。

▼栗山町廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例

令和6年4月から本格稼働する広域焼却処理施設における焼却処理の開始に伴う「ごみ分別方法の変更」により、廃棄物の取扱区分等に変更があることから、本条例を改正するもの。



人事案件

▼固定資産評価審査委員会委員の選任について

令和5年9月30日をもって任期満了となる武岡和幸氏の後任として、**橋本克己氏**を推薦する。任期…令和5年10月1日～令和8年9月30日

▼栗山町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

※選挙の方法は議長の指名推薦により、全員同意により決定

【選挙管理委員】

古林 義弘 氏(中央)
青木 朝雄 氏(桜丘)
鈴木 英雄 氏(大井分)
長谷川真由美氏(桜丘)

【補充員】

川崎 俊樹 氏(大井分)
宮川 ゆかり氏(富士)
高杉 文浩 氏(中央)
飯尾 隆亮 氏(継立)



その他

▼放棄した債権について

水道料金14件
6万4297円
事由…時効により放棄



意見書

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【要旨】

本道の森林は国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要がある。

2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向けて、森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担うことが必要である。

本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進や、防災・減災対策の推進に必要な予算を十分に確保すること。
- 優良種苗の安定供給、スマート林業の推進、道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。
- 森林の多い市町村において必要な森林整備がより一層進むよう、森林環境譲与税の譲与基準を見直すこと。



本道の森林は全国の森林面積の4分の1を占める

【要旨】

栗山町の社会資本整備を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害や今後一斉に更新期を迎える橋梁・道路などの公共施設の老朽化や通学路等の安全対策の推進が大変重要となっている。今後は、平常時・災害時を問わない支える基盤の確立に向け、防災・減災、国土強靱化に資する社会資本の整備を図ることが必要である。加えて、冬期間の住民の安全・安心を図ることが必要である。よって、国においては、道路網の整備や老朽化対策などを着実に推進し、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」をより一層推進するため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

1. 新たな財源の創設及び必要予算を確保すること。
2. 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保するとともに、5か年加速化対策期間完了後も、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むこと。
3. 道路については、着手済み区間の早期開通、未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間の4車線化と、国道234号の早期4車線化の機能強化を図るとともに、災害に強い道路ネットワークの整備を推進すること。
4. 橋梁等の老朽化対策



交通量の多い国道234号

5. 冬期における安定した維持管理の充実に必要な予算を確保すること。
6. 維持管理に活用可能な交付金制度を創設するとともに、公共施設の長寿命化について、すべての管理施設の点検や診断、補修、更新が交付対象となるよう採択要件を緩和するなど、地方負担の軽減を図ること。
7. 「流域治水」の取組に必要な財政支援を更に強化すること。
8. 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。



解説

「意見書」とは？

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた書類のこと。地方自治法第99条で「普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。」と定められている。

議会で決定された意見書は、内閣総理大臣などに宛てて提出される。

賛否の公表

栗山町議会の“あり方”を定めた「議会基本条例」の第4条第6項に「議会は、重要な議案に対する各議員の態度を議会広報で公表する等、議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報提供に努めるものとする」と定められている。

「ぎかいだより」では、主に賛否が分かれた議案について、掲載している。



9月定例会議
賛否の公表QR

※今回は、賛否が分かれた議案がなかったため、掲載を省略しています。一覧は議会ホームページに載せておりますので、ご覧ください。



賛否の公表



9月定例会議
録画配信 QR

町政の ここが聞きたい 4 議員が一般質問

しげやま まさよ
重山 雅世 議員

- Q1.** 学校給食の無償化を **A.** 町財政への影響も考慮し検討する
- Q2.** 加齢性難聴者への補聴器購入助成を **A.** ニーズの把握に努める
- Q3.** 役場庁舎にエアコン設置を **A.** 避難所の環境整備、
町民の利便性向上が優先

おきた たけし
置田 武司 議員

- Q1.** 投票環境の整備を **A.** 実情を把握しながら検討していく

すずき ちはや
鈴木 千逸 議員

- Q1.** 栗山公園とくりふとの連携は **A.** すぐに着手できるものから
順次進めていく

さいとう たかひろ
斉藤 隆浩 議員

- Q1.** 栗山高校及び介護学校への給食導入を **A.** ニーズ調査の結果を
踏まえ検討する



重山雅世議員

子育て支援

Q：学校給食の無償化を

A：町財政への影響も考慮し検討する



給食費の無償化は国でも検討調査を進めている

質問趣旨 学校給食無償化は教育負担の軽減を求める子育て世代の強い要望で、少子化対策にもなると考え質問。

議員 子育て世帯にとって給食費負担は決して軽いものではない。道内では小学校のみ無償化・今年度新たに無償化する自治体を含め50近くの市町村が実施・検討してい

る。昨年は国の交付金を使い無償だった。今年度は原材料価格値上げ分の補填を町が負担する措置を取り、児童ひとりあたりの負担は小学校で年間約5万円、中学校では約6万円で多子世帯は10万円以上の負担となる。住民が無償化を求めて署名活動に取り組み、給食費半額や無償化にする自治体が全国で広がってい

る。無償化のための予算は4600万円、令和5年度予算歳出の0.4%で1%にも満たない。本町でも、子育て支援、物価高騰対策として給食費無償化に踏み込んでほしいと思

町長 持続可能な地域社会を維持していくために、子育て家庭の経済的な負担軽減を図る子育て支援の充実も、重要な施策と考える。国の調査結果を踏まえ町財政への影響も考慮しながら検討する。

感想 「学校給食法（食料費は保護者負担）は自治体が全額補助することとを否定していない」との国会答弁等示し議論したが、重要性は認識しつつ無償化を切り離して考えるとのことなので、子どもの権利の視点で引き続き求めていく。

補聴器

Q：加齢性難聴者への購入助成を A：ニーズの把握に努める

議員 補聴器の早期使用は日常生活の質の向上と認知症予防にも効果があると言われている。70デシベル以上であれば聴覚障害者と認められ、身体障害者手帳が交付され、補聴器購入の費用が支給される。手帳を持たない難聴者は自費での購入となるため、自治体独自の助成が広がっている。私は平成28年12月に、佐藤功前議員が令和3年6月に一般質問し、町長答弁は「アンケートの結果、ニーズは少ないと判断」して独自助成に至っていない。

高齢者からは「高くても買えない」「少しでも支援して欲しい」の声も寄せられている。会話が成り立たないので外出を控え「閉じこもり、孤立」しないよう、高齢者が積極的に社会参加できる仕組みづくりの一環として、補聴器購入の助成の見解を伺う。

町長 聴覚機能の低下が見られる高齢者全体に関わるものであり、国が公的補助すべきものと考えている。国に対し要請するとともに、他自治体の助成制度の状況やニーズの把握に努める。

こんな質問もしました！

議員 役場庁舎のエアコンを設置のため、国に財源措置を求め、段階的にも着手しては。

町長 避難所の環境整備、町民の利便性向上を優先するが、公共施設全体の計画の検討も必要と考えている。財源確保の可能性等調査を行う。

Q：投票環境の整備を

A：実情を把握しながら検討していく

選

挙



置田武司 議員

質問趣旨 高齢化が進んでいる栗山町においても、投票環境の整備が必要かと思ひ質問した。

議員 今年は町民に一番身近な町議会議員選挙が実施され、無事に終了した。この選挙期間中に、高齢者の方々から「選挙に行きたいのだが、投票所までの移動する足がない」、「送迎の集場所まで行かない」という相談があった。

道内土幌町では、高齢、障がい等の理由により、玄関先での投票ができる移動期日前投票所を開設する取り組みを今年4月から導入している事例がある。道内では初めての実施自治体である。その他道内自治体で、投票所の閉鎖により交通手段がない高齢者や障がい者の投票率の低下に懸念があるため救済措置として、移動期日前投票を実施している。大変喜ば

れた施策ではないかと考える。

現在、送迎支援を行っているが、送迎の集場所まで行くことが困難な高齢者のために、投票環境を整備する政策が必要と考える。送迎支援の成果、今後自宅まで訪問する移動期日前投票所の開設を含めた新たな方策を検討しているか伺う。

選挙管理委員長 自宅から投票所までの移動が困難な方に対する支援については、公職選挙法において高齢者などの「移動困難者」に対する投票機会を確保する取り組みを行っている。

送迎支援の成果としては、1回の選挙において5名程度の利用者数で推移しており、投票所までの移動手段の確保として移動環境の整備及び投票率の向上として、少なくとも成果があったものと考えている。



有権者の投票しやすい環境整備が必要

また、今後の新たな方策については現時点では具体的な対応は考えていないが、投票環境の整備をはじめ投票率の向上に向けた対策を講じる必要があるものと考えている。

本町の地域特性に合わせた有権者が投票しやすい投票環境の整備と投票

率の向上に向けた取り組みについて検討していく。

感想 前向きな答弁を頂けたと思う。

今後、高齢化や社会環境の変化を踏まえ、有権者が投票しやすい環境の整備に、積極的に取り組んで欲しい。

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されております。ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



鈴木千逸 議員

関係人口

Q：栗山公園とくりふとの連携は

A：すぐに着手できるものから

順次進めていく

議員 栗山町民をはじめ栗山町に関わる人たちが活動し交流するためのコ

質問趣旨 くりふとへ、イベント以外の平常時にも集客できるように栗山公園と連携できないかと考え質問した。

コミュニティスペースとして栗山煉瓦創庫くりふとが4月にグランドオープンし、それ以来、夏祭りなどの行事が行われて町内外の多くの方々にも認知度は上がっている。くりふとへの更なる集客を目指して、栗山公園

との連携が計れないものかと思う。栗山公園は町内外のお客様が年間10万人来場する栗山町の観光拠点の一つである。ここへ来たお客様をくりふとへつなげる仕組みが今はない。この2つの施設の連携を効果的に計る仕組



栗山公園の来場者数は年間10万人

みができれば関係人口の創出につながると思うが町長の考えは。

町長 くりふとは、栗山町に賑わいや活気をまち全体に広げていくための拠点として、プレオープン以来、2万2千人を超える皆さんが利用している。栗山町との関係人口の創出に向けて、コミュニティ放送局、くりふとキッチンによる飲食チャレンジ営業、ファブラボ栗山によるものづくり活動などにより、町内で活動・活躍する人材への支援を進めている。ご指摘のとおり、栗山公園をはじめ、他の観光施設、飲食店、宿泊施設、交通機関、イベントとの連携を図り、くりふとの利用促進をはじめ、町内の周遊や滞在に繋げることが重要である。

今年度の観光振興計画において、「地域資源を活用してまちへの愛着と

賑わいを生み関係人口をつくる」という目的を掲げ、本町への関係意欲を高めながら能動的に活動してもらえよう、事業を展開したいと考えている。

栗山公園とくりふとの連携に関連するものとして一例を挙げると、新たな観光パンフレットの発行、連携イベントの開催、その他の施設やエリアを活用した周遊プランや体験プログラムの開発、レンタサイクル等の二次交通手段の提供などを想定している。また、栗山公園で実施しているスタンプリーの参画や、情報共有など、すぐに着手できるものなど指定管理者の協力も得ながら順次、進めていく。

感想 栗山公園はじめ周辺の協力体制を整えて、同時にくりふと本体の集客機能の充実を期待したい。

Q：栗山高校及び介護学校への導入を

A：ニーズ調査の結果を踏まえ検討する

学校給食



斉藤隆浩 議員

質問趣旨 8月の文書質

問の答弁に基づき保護者の負担軽減や健全な食生活の確保、食育の観点からも栗山高校及び北海道介護福祉学校でも給食の導入ができないかについて質問した。

議員 ①給食の導入につ

いて、難しい課題があるとの答弁ですが、過去に高校及び介護学校への給食導入について検討や導入に対する経費の試算をしたことがあるのか。

②ニーズ調査等を実施し今後給食導入の必要性について判断するとの答弁ですが、いつ、どのようにニーズ調査を行い、いつまでに判断するのか。

教育長 ①栗山高校につ

いては試算（約6600万円）したが介護学校については試算していない。現段階で給食の導入については考えておらず高校においてはカリキュラム



給食のある公立高校はまだ少ない

の変更が必要だが、道教委が決めることなので町教委では決められない。給食導入には経費も掛かり生徒たちの給食の需要もない。様々な課題をクリアするのは難しい。

②栗山高校の生徒と保護者においては道教委に依頼し、道教委から栗山高校へニーズ調査が可能か問い合わせることになる。介護学校と今後高校進学を検討する栗山中学校の生徒と保護者については返信率が低いと思う

がニーズ調査を実施する。



教育長 介護学校の生徒

に学校給食のニーズがない中で給食を食べるよう強制させるのは誰がやるのか。

議員 小中学校でも給食

を望まない子もいるが学校給食法で決まっているので実施している。栗山高校や介護学校もやると

決めて前に進めば給食が当たり前になってニーズはついてくる。やる前から出来ないと言うのではなく前に進みませんかと言っている。

感想 以前から先輩議員

や町民、学生や卒業生やその保護者の一部からも給食についての要望が出ている。少子高齢化の中で保護者の働き方も変わり、負担も増していると思う。栗山町の学校だとお昼ご飯は安心だと思える学校づくりも必要だと感じている。

元々やっていなかった取り組みで当然課題が山積している事は承知した上で質問を重ねたが議論は平行線をたどり前向きに進むところまではたどりつけなかった。ご期待頂いた町民の皆様大変申し訳ない。

議会中継をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページからご覧ください。

栗山町議会

検索



ギカイの見方 - 委員会レポート -

各常任委員会では以下の所管事務調査を行いました。引き続き調査を行い、3月定例会議で報告します。

所管委員会	調査事項	委員会活動状況
総務教育常任委員会	・学校教職員の働き方改革について	7月26日（水） 学校教育課より、学校教職員の働き方の現状や働き方改革の取り組みについて説明を受けました。
	・若者定住事業の実態と課題、今後の展望について	8月31（木） 若者定住推進課より、若者定住事業の今までの取り組みと、今後の計画、課題等について説明を受けました。
	・社会教育施設の使用実態と課題、今後の展望について	9月21日（木） 社会教育課より、社会教育課所管施設の利用実績や指定管理者制度等の今後の課題について説明を受けました。
産業福祉常任委員会	・子育て家庭の現状と課題について	8月9日（水） 福祉課より、子育て家庭の現状と町の支援制度について説明を受けました。
	今後、「町内の交通機関の実態について」「都市再生整備計画事業」についても調査します。	



所管事務調査

町から提案された予算案や条例案の議案を審議するのは違い、条例の立案や町への政策提言などの政策形成等を目的に、常任委員会が自主的に所管する事務について行う調査です。



8月臨時会議

8月10日

契約相手 井沢建設株式会社	契約金額 7018万円	負契約 指名競争入札	▼工業団地造成工事の請負契約	その他	▼経営所得安定対策直接支払推進事業補助金 35万円	▼地域集会所施設建設補助金 47万円	▼立緊急支援事業補助金 3208万4千円	▼持続的畑作生産体系確立緊急支援事業補助金 3208万4千円	▼一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ3327万1千円を追加し、予算総額を106億9715万9千円とした。	¥ 補正予算

文 書 質 問



しげやま まさよ
重山 雅世 議員

提出日 令和5年7月7日

回答日 令和5年7月18日

Q：熱中症への備えを

物価高騰で昨年夏も電気代を気にして、エアコン使用を控えた人もいる。このままでは昨年以上にエアコン使用を我慢する人が増加する危険があり、命に関わる大問題である。多くの町民が来庁する役場庁舎には網戸がなく、エアコンも配置されていない部署がほとんどで、快適な職場環境とはいえない状況になっている。職場の労働安全環境を良くする事は職員のみならず住民サービスの向上にもつながると考える。そこで、以下の3点伺う。

- ①異常な暑さの中勤務する職員等の健康を心配する町民の声も聞くが、役場庁舎のエアコン設置についての考えは。
- ②政府に対し、「指定暑熱避難施設（クーリング・シェルター）」の指定する予定施設へのエアコン設置費補助など実効性ある施策を求める考えは。
- ③今後、災害等の避難所にも順次エアコンを設置する考えは。

A：エアコン設置の必要性を検討する

①本町各小中学校等の教育環境の整備並びに、指定避難所の環境整備と町民の利便性向上のため、主要な公共施設へのエアコン設置を進めてきた。役場庁舎においては、一部の会議室、その他の必要箇所にはエアコンが付設されており、現時点では全執務室を含めた庁舎全体への設備の計画はない。気温上昇の状況と各フロアの執務環境の実態、財源措置を含めた国の動向等を踏まえ、今後の必要性について検討していく。

②改正法により、冷房設備を有する等の要件を満たす施設を市町村が指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として指定することができようになり、この指定を受けた施設の管理者は、熱中症特別警報情報の発表期間中において、当該施設を一般に解放することが義務づけされるという仕組みが創設された。現在、国では令和6年春の法全面施行に向け、有識者検討会を設置し、その中で検討が進められている途中であることから、現時点では町として政府に対し補助要望などを行う予定はない。

③現在、指定避難所16施設のうち12施設の一部にエアコンが設置されている。国の防災基本計画でも、指定避難所の良好な生活環境の確保のため、暑さ対策に必要な措置を講ずるよう努めるべきものとなっている。今後、未整備施設を含めた更なる設置の必要性について検討する。





さいとう たかひろ
齊藤 隆浩 議員

提出日 令和5年8月7日

回答日 令和5年8月18日

Q：学校給食について

- ①保護者の負担軽減やバランスのいい食生活、また栗山町としての食農教育を考えたときに学校給食法では対象となっていない栗山高校及び北海道介護福祉学校にも給食を導入するお考えはないか。
- ②保護者の帰宅時間が遅い子どもたちが集える場所に衛生面も考慮した中で給食を預け、子ども食堂のような形の取り組みを検討できないか。

A：ニーズ調査を実施し必要性を判断する

- ①両校への給食の導入には多くの課題がある。1つが給食センターの設備に関することで、備品設備の増設と調理員の増員。また、現状で配送場所を増やすためには新たな車両と人員確保も必要になる。もう1つは、両校校舎の設備の問題で、給食搬入口やエレベーターの設置等、また、栄養教諭などの配置が必要になる。給食の導入は難しいが、ニーズ調査等を実施し給食導入の必要性について判断していく。
- ②子ども食堂などの居場所づくり活動については、今度実態把握やニーズ調査を行いながら、必要性について検討していく。

Q：事務処理の遅延について

家庭の事情等により就学に必要な経費の負担が困難な家庭に対し、必要な支援を行う就学援助制度がある。認定の可否は6月中旬に保護者に郵送と記載があるが、実際に保護者に届いた書類は6月末日の日付で、7月に入ってから届いている。そこで、以下の3点について伺う。

- ①何も通知せず教育委員会自らが提示した期日を過ぎ、申請者に大きな不安と金銭的負担を与えた。不安を与えた要因について教育長のお考えは。
- ②今後こういうことが起きないための具体的な対策は。
- ③ミスが起きた時、町民に理解納得していただく為の具体的な対策マニュアルを作成すべきと考えるが町長のお考えは。



A：職員の意識啓発を徹底していく

- ①②遅ればせながら、令和5年8月17日付で申請者皆様にお詫びの文書を郵送させていただいた。遅延の要因は、課税情報の把握や確認作業に時間を要したためであり、また、申請者皆様に不安を与えてしまった要因は、遅延の連絡がなかったものと考えている。
今後はマニュアル等を見直すほか、遅延が見込まれる事態に至った場合は速やかに申請者皆様に連絡するなど、対象者の立場にたった真摯な対応をとっていく。
- ③正確な事実関係に基づく町民等への誠実かつ真摯な連絡・対応など、当該マニュアルの基本フローに準じた対応を取ることができるよう、職員の意識啓発を徹底していく。

出来事・話題 Topics



北海道町村議会議長会主催議員研修会

令和5年7月4日、札幌コンベンションセンターにて、北海道町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、議員11名が参加しました。

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長 五百旗頭 真（いおきべ まこと）氏より「ウクライナ危機後の世界と日本」、政治ジャーナリストの田崎 史郎氏より「日本政治の舞台裏」と題しての講演をいただきました。

空知町村議会議長会主催議員研修会

令和5年7月12日、栗山町カルチャープラザ「Eki」にて、空知町村議会議長会主催議員研修会が開催され、議員11名が参加しました。

早稲田大学マニフェスト研究所ローカルマネージャー（兼）招聘研究員の長内紳悟氏より「議会のデジタル化からDX・高度化へ」と題してご講演いただきました。

議会活動における有効的なデータの活用方法等、具体例を交えて説明いただきました。



栗山町議会議員研修会①

令和5年7月13日、栗山町役場議員控室において、栗山町議会議員研修会が行われました。前日の空知町村議会議長会主催議員研修会に引き続き、長内紳悟氏を招き、「町の未来を政策立案する栗山町議会へ」と題して講演いただきました。今後の栗山町議会に必要な事を学ぶことができ、実りの多い大変有意義な研修でした。

栗山町議会議員研修会②

令和5年8月18日、栗山町役場議員控室において、栗山町議会議員研修会が行われました。町経営企画課主幹より「指定管理制度について」「財政の基礎について」と題して講演いただきました。指定管理制度の概要や決算カードの見方について学びました。



新しい議会モニターが

決まりました!

くりやま議会だより
176号で募集しました
議会モニターに、たくさ
んのご応募ありがとうございました。

今後は、モニターの皆
さんから議会運営などにつ
いてご意見やご感想を
いただき、議会の活性化
に繋げていきます。
モニターの皆さんの活
動は議会だよりで報告し
ていきます。



【任期】

令和5年9月1日〜

令和7年8月31日

・木藤清氏	・高橋慎氏	・松下早苗氏	・松藤あつ子氏	・佐藤猛氏	・土井由紀子氏	・坂口嘉貴氏	・水野純子氏	・武山隆子氏	・丸山富子氏	・谷内智隆氏	・小坂仁志氏	・土門恵利氏	・工藤正史氏	・菱谷典雄氏	・喜多村大吾氏	・鳥山幸健氏	・野澤香氏
-------	-------	--------	---------	-------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	-------

合計17名

2年間よろしく

お願いします

議会モニター会議

テーマ「議員の学校について」
「モニター会議の持ち方について」

令和5年8月23日(水)に役場第1
会議室で、議会モニター会議を開催しま
した。モニター12名と議員9名が4グ
ループに分かれ、「議員の学校」、「モニター
会議の持ち方について」をテーマに意見
を交わしました。

【議員の学校について】

- ・良い計画だったと思う。
- ・議会モニターも議員の学校に関わ
りたかった。
- ・話が長かったのでは。
- ・議員OBが講師になっては。
- ・議員を身近に感じてもらうために
若い世代にも発信が必要。

【モニター会議の持ち方について】

- ・小グループのほうがいろいろな意
見が出る。
- ・開催回数は年3〜4回でちょうど
良い。
- ・議会を監視する立場ではなく、建
設的な意見交換ができる場になっ
て欲しい。
- ・フリートークの回があっても良い。
- ・学生に入ってもらえるかどうか。



12月定例会議の開会日

12月12日～

議会の予定

12月 8日(金) 議会運営委員会

12月 12日(火) 12月定例会議
～ 15日(金)

※全て9時30分開会予定です

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページでご確認ください。



議会に行こう！

傍聴 は議会活動にふれる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。

会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口までお越しください。

くりやまぎかいだよりNo.177

2023年(令和5年)11月1日発行

発行/北海道栗山町議会

編集/広報広聴常任委員会

〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252

Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233

<https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/gikai>

E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

印刷/山東印刷株式会社



間伐で未来につなぐ北の森

ひとこと

「夕張川は支笏湖のできる前に
苦小牧方面に流れていた」

みずの なおはる
水野 直治 (中央4)



北海道立中央農業試験場の職員であった私共が札幌市琴似町から北長沼に新築された農試に職場が移動するため、栗山町に移転してきたのは昭和42年の11月であった。曇(みぞれ)の降る寒い時期だったと記憶している。

私の研究テーマは、蛇紋岩(じゃもんがん)地帯のニッケル過剰対策であった。カドミウム問題の出現まで仲間は国内におらず、「何で重金属研究をするのか」といわれながらの仕事であった。1990年に私は30年勤めた道職員を辞め、自宅は栗山のまま網走の農大に赴任した。

1994年には江別の酪農学園大学に移った。地質学的に夕張川の流れがどのように変わったか興味がわいた。夕張岳は蛇紋岩からなり、そのため美しい高山植物もある一方、溶け出す蛇紋岩粘土はニッケルとマグネシウムに富む。この二つの元素を追っていくと夕張川は長沼の馬追山麓に沿って千歳市の地区にたどり着いた。しかしそれから先はわからなくなった。

今から3万2千年前に、信じられないが現在の支笏湖の場所に富士山クラスの山があったという。この山が爆発し、最大水深360mの支笏湖が誕生した。膨大な火砕流は石狩低地帯を埋めた。南は室蘭から東は馬追丘陵、北は札幌市の石山まで広がり、周辺の山で止まった火砕流はそこで再び熱を帯びて一部が溶け固まって、現在の軟石になった。

このような状況から、支笏湖のできる前、夕張川は千歳川(千歳川があったかどうかわからない)と合流し、現在の美々川を流れて太平洋に流れていたことは容易に想定できるのである。

表紙の一枚！



みんなで楽しく練習しています!!
撮影 堀 文彦
場所…スポーツセンター



広報広聴常任委員会(広報小委員会)

委員長/佐藤則男 副委員長/大櫛則俊

委員/置田武司 堀文彦 端師孝 藤本光行

ホームページQR



くわしい情報は栗山町議会ホームページへ！

栗山町議会 検索